

2009 オーストラリア、ニュージーランド地形

〔I〕 次ページの図を参照しながら、次の文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

オーストラリア大陸東縁には長さ2,000 km以上に及ぶ大(1)山脈(図中A)が横たわる。これはバス海峡を隔てて(2)島(図中B)に続く。オーストラリア大陸は他の大陸に比べて平均高度が低く、この山脈より西のほとんどは(3)地などの安定陸塊となっている。とはいえ、(3)地には、図中aのキンバリー高原や図中b付近のマクドネル山脈など、先カンブリア時代の地層からなる高地が分布している。乾燥気候のために全面的に岩石が露出するエアーズロック(ウルル)はこういった山塊の一つで、世界遺産に登録されている。

広大な大(4)盆地(図中C)は沈降が続き、ここには厚く地層が堆積してきた。そして、比較的降水の多い大(1)山脈などから長い間、この地下水の水を含みやすい砂岩層に水が供給されてきた。

大(1)山脈の主要形成期である古生代や、大(4)盆地の砂岩層主要部が堆積した中生代ジュラ紀より後に、オーストラリア大陸は隣接する南極大陸から分裂した。両大陸はかつて(5)大陸を構成していた。

オーストラリア大陸東方、図中cのタスマン海を介して位置するニュージーランド北島および南島は、オーストラリアプレートと太平洋プレートの境界に位置する。(6)諸島(図中D)とケルマデック諸島の東側には深い(7)(図中E)が見られる。この延長線が北島の東側を走り、やがてこれは南島に上陸して図に示したfのアルパイン断層となっている。

北島には北海道の洞爺湖などと同様、タウポ湖に代表される(8)湖などの火山地形が分布する。これは太平洋プレートの沈み込みによるものである。

ニュージーランド南北両島はジーランディアと呼ばれる大陸プレートの上に載っている。多くは太平洋プレートの下に沈み込んだが、今も両島やここから延びる図中cの海台や図中dやeの海嶺に残っている。

南島上ではオーストラリアプレートと太平洋プレート上に載ったこの大陸プレートが衝突しており、最高峰3,754 mのアオラキ(クック)山をもつサザンアルプス山脈を形成している。ここには現在でもフランツジョセフ(9)など、

山岳(9)が分布している。およそ2万年前には現海面下まで(9)が達していた。現海面下の部分は現在は沈水して、ミルフォードサウンドなどの(10)になっている。なお、サウンドは入り江を意味している。

[語 群]

- | | | |
|----------|-----------|-----------------|
| (ア) 断層 | (イ) 扇状 | (ウ) オーストラリアアルプス |
| (エ) 河跡 | (オ) 鑽井 | (カ) マーレーダーリング |
| (キ) 海溝 | (ク) 氷河 | (ケ) ニューイングランド |
| (コ) 氷床 | (ク) 分水嶺 | (シ) ニューカレドニア |
| (ス) 楕状 | (セ) トンガ | (ソ) リアス式海岸 |
| (タ) 中央海嶺 | (チ) 舟状海盆 | (ツ) スチュアート |
| (テ) フィジー | (ト) ローラシア | (チ) フィヨルド |
| (ニ) カルデラ | (ヌ) ゴンドワナ | (ネ) タスマニア |

